

令和4年度 学校評価(自己評価)

A : そう思う B : だいたいそう思う C : あまりそう思わない D : そう思わない

【1 教育目標】			
No.	質問項目	集計結果 ■ A ■ B ■ C ■ D	コメント
1	学校教育目標の具現化は図れたか。 ○よく励む子 ○心さわやかな子 ○粘り強い子	5% 95% 0%	・教育目標実現に向けて自己評価シートを活用しながら教職員が力を合わせ教育活動に取り組むことができました。
2	本校の教育目標は、児童に理解されるような具体的な方策がとられているか。	15% 85% 0%	
3	本校の教育目標は、児童の教科・領域の指導中に生きているか。	0% 100% 0%	
【2 学年・学級経営等】			
1	学年・学級経営を中心に据えた教育実践ができたか。	10% 90% 7% 0%	・特活的行事に関して、児童が活躍できる内容に整えていく。 ・話し合い活動の充実を図るために、各教科との関連を明確にするために、年間指導計画への具体的な位置づけを提案し、全職員の共通理解を図る。
2	学習指導の改善を図るよう努めたか。	10% 85% 5% 0%	
3	総合・特活の改善を図るよう努めたか。	5% 90% 5% 0%	
4	生徒指導・教育相談の推進を図ることができたか。	30% 65% 5% 0%	
5	褒める教育を推進し、子供のよさや可能性を伸ばす教育実践はできたか。	40% 60% 0%	
6	清潔な教育環境の整備を図ることができたか。	30% 70% 0%	
7	学年・学級会計は、迅速且つ適切に処理されたか。	45% 55% 0%	
【3 教科指導】			
1	年間指導計画は、適切であったか。	10% 80% 10% 0%	・各教科年間配当時数を確保することができた。 ・学校行事に合わせ教育課程計の見直しを進める備品の購入、廃棄を積極的に行うこと、掲示物の精選等も行い教育環境を整える。 ・児童同士の意見を共有する場を意図的に設け自分の考えを再構築していく活動場面は今後も続けていく。
2	年間授業時数は、確保できたか。	55% 45% 0%	
3	体験的な学習や問題解決的な学習などを重視し個に応じた教育の推進が図れたか。	25% 75% 0%	
4	児童の思考力・判断力・表現力を高めるような工夫がなされたか。	15% 80% 5% 0%	
5	教材教具の活用と管理が十分になされたか。	20% 70% 10% 0%	

【4 特別活動】

1	各活動（学級活動）の計画・運営は適切であったか。		・児童が、従来通りの活動に戻せるよう、引き続き感染対策を充実させ、具体的な提案をあげていく。
2	各活動（児童会活動）の計画・運営は適切であったか。		
3	各活動（クラブ活動）の計画・運営は適切であったか。		
4	授業時数・実施時間の確保はできたか。		
5	児童の自主的・実践的な態度、協力的な態度は育っているか。		

【5 学校行事】

1	各行事の目的と意義が明確で、具体的な計画であったか。（儀式的、文化的、健康安全・体育的、遠足・集団宿泊的、勤労生産・奉仕的）		・指導の成果について反省と検討をおこなった。コロナ過において行事の運営の仕方を工夫して働き方改革を推進していく。
2	児童の参加意欲を高め、参加の喜びを持たせる配慮がなされていたか。		
3	指導の成果について評価し、反省と検討がなされていたか。		

【6 総合的な学習の時間】

1	年間指導計画に沿って指導ができたか。		・計画通り適切に指導をすることができた。
2	児童主体の課題解決学習となっていたか。		
3	教師間の共通理解を図れたか。		
4	多様な学習形態を工夫できたか。		
5	地域・保護者・諸機関との連携を図れたか。		
6	安全面への配慮がなされたか。		

【7 英語活動・外国語活動・外国語】

1	年間指導計画に沿って指導ができたか。		・計画的に実施することができた。 ・オンラインで他校との交流もできた。様々な取組を工夫して行っていく。
2	活動を通じて、言語や文化について体験的に理解を深められたか。		
3	積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成できたか。		
4	外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養うことができたか。		

【8 生徒指導・教育相談】

1	生徒指導について、全職員が共通理解を持って推進できたか。		<p>・生徒指導についての取組を4月の職員会議等で周知し、共通理解を図る。</p> <p>・小さな兆候見逃さずを未然に防げる取組の実施。また、未然防止の観点からも何も問題が無い状態でも適切な指導をいれていく。</p>
2	教育相談の組織・運営は適切であったか。		
3	生活目標の年間計画は、適切であったか。		
4	生活目標の実践への指導は、十分になされていたか。		
5	「原市南小よい子のきまり」は、日常生活の中で活用されていたか。		

【9 道徳教育】

1	物事の善悪についての的確に判断する力を育成できたか。		<p>・計画通り適切に指導をすることができた。</p>
2	相手に対する思いやりをもち親切にする態度を育成できたか。		
3	誰に対しても公正、公平に接する態度を育成できたか。		
4	生命の尊さを知り、大切にすることができたか。		

【10 保健指導】

1	保健指導は計画的に実施され適切な指導がなされていたか。(学校保健委員会、歯磨き指導、保健だよりの活用等)		<p>・計画通り適切に指導をすることができた。また、感染症への対応も適切であった。</p>
2	年間計画は、適切であったか。		

【11 給食指導】

1	給食指導は計画的に実施され、適切な指導がなされたか。		<p>・会食の緩和を段階的に進めることができた。</p>
---	----------------------------	--	------------------------------

【12 安全教育】

1	安全指導は計画的に実施され、適切な指導がなされたか。(避難訓練、安全点検、登下校指導、交通安全指導等)		<p>・計画通り適切に指導をすることができた。</p>
2	年間計画は、適切であったか。		

【13 校務分掌】

1	機能的・合理的な組織・運営となっていたか。		<p>・学期始めに校務分掌会議に用いる時間を多く設け計画的に各分掌が機能できるようにする。</p>
2	教職員相互が、それぞれの立場を理解し、協力や助言を惜しまないようになっていたか。		

【14 会議】

1	各種会議は、適切な運営がなされていたか。（職員会議、学年会、職集、指導部会、各教科等部会等）		・会議期間を学期始めに集中させ年間を通して計画的に実施する。
---	--	--	--------------------------------

【15 日課】

1	日課表・週行事は適切であったか。		・5校時と6校時の間を5分伸ばす。
---	------------------	--	-------------------

【16 校内研修】

1	研修は計画的であったか。		<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、研究テーマが個人追究型だったこともあったため、深まりには個人差がみられた。 ・来年度の研究教科は、技能教科である図画工作科とした。今年度のよい点も引継ぎながら、一人一人の関心を追究できる形で課題研究を行う。
2	教職員の共通理解が図れたか。		
3	各グループ活動は充実していたか。		
4	研修を通して児童の変容が見られたか。		

【17 諸表簿】

1	記入の仕方が統一され、必要な点検がなされていたか。		・適切管理を行うことができた。
2	保管は安全・適切であったか。（指導要録・出席簿・通知票・パソコンやUSB等の個人情報・デジタルカメラ・SDカード等）		

【18 環境整備】

1	校舎内・校地周辺は、整理整頓され保健・安全・美化について配慮されていたか。		<ul style="list-style-type: none"> ・校内環境については、昨年よりも整備が行き届いている。 ・教育活動に必要な用具の点検は、月に1度の点検を必ず実施する。 ・備品持ち出し簿の確実な記入を行う。
2	指導に必要な設備・備品が整理され、適切な管理がなされていたか。		
3	清掃指導が徹底し、清潔整頓は保たれていたか。		
4	教育環境として適切な掲示がなされていたか。		

【19 家庭・地域】

1	学校の教育方針や学年・学級の指導方針等について家庭の理解・協力が得られたか。		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方に協力して頂く教育活動が増えてきた。内容を精選し、やり方を工夫して実施していく。
2	家庭や地域の教育力を生かすことができたか。		
3	家庭や地域の学校への願いや期待に十分応えることができたか。		

【諸教育活動】

1

〔人権教育〕〔国際理解教育（外国語）〕〔男女平等〕〔福祉教育〕〔健康教育（清掃）〕〔学校図書館教育〕〔情報教育〕〔環境教育〕等についての改善策等

- ・パソコンルームが有効に活用できる工夫をする。
- ・人権教育の充実を図る。来年度は、夏休みに研修を行う。

学校関係者評価（コメント）

- ・学校評価（自己評価）については、ほぼ妥当な評価である。
- ・学校行事は少しずつ元に戻していく中で働き方改革を推進することが必要である。
- ・登校時間については、子供たちのゆとりと教育効果の両立を考え改善する必要がある。
- ・駅伝については、学校教育と社会体育の連携を進めながら移行していく必要がある。